第 40 回 日本輸血·細胞治療学会北陸支部例会

プログラム・抄録集



会 期:2022年11月19日(土)

会 場:金沢医科大学病院 病院中央棟 4階 北辰講堂

例会長:水田 秀一

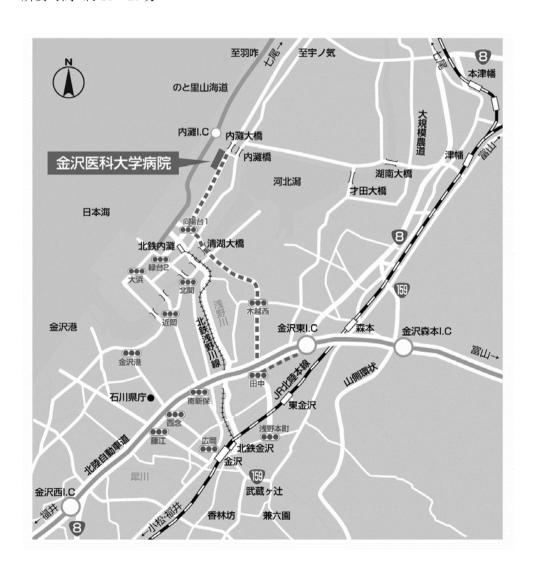
公共交通機関でご来院の場合

〈金沢駅から電車とバスでお越しの方〉

金沢駅兼六園口より北陸鉄道浅野川線で終点内灘駅まで約 16 分、内灘駅でバス(医大病院ゆき)に乗り換え、「医大病院」で下車(約 10 分)

〈金沢駅からタクシーでお越しの方〉

所要時間 約15~20分



自動車でご来院の場合

〈金沢東インターから(東京方面から)お越しの方〉

北陸自動車道を金沢東インターで降り、国道8号線を福井方向に走行、田中交差点を右折し、直進。清湖大橋を通過し、最初の交差点を右折、直進。左手に金沢医科大学病院。 (所要時間約15分)

〈金沢西インターから(大阪方面から)お越しの方〉

北陸自動車道を金沢西インターで降り、国道8号線を富山方向に走行、田中交差点を左折し、直進。清湖大橋を通過し、最初の交差点を右折、直進。左手に金沢医科大学病院。 (所要時間約20分)

会場のご案内

<会場までの道順>

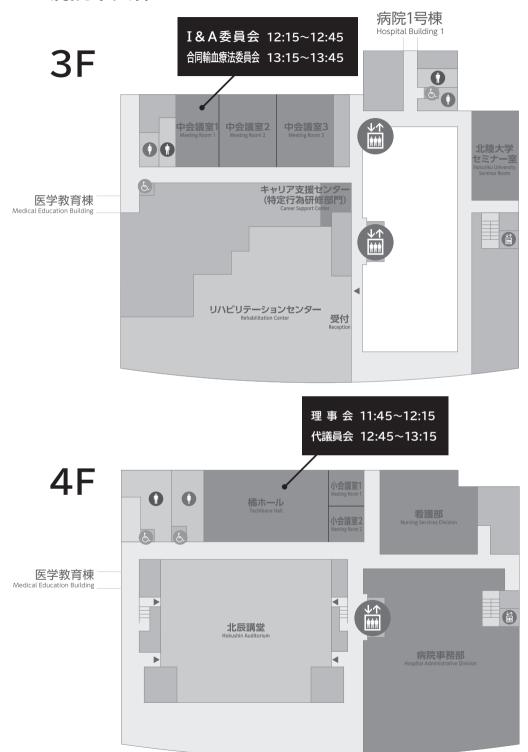
- ① 入口は臨床研究棟です。1F入口からお入りください
- ② 臨床研究棟内で 2F にあがり
- ③ 2F の連絡通路から中央棟(会場)にお入りください



自家用車で来られる方へ

『患者駐車場 C』をご利用ください 会場受付で駐車券をご提示いただくことにより 100 円となります

病院中央棟



参加者の皆様へ

- 1. 13時00分より受付を開始致します。
- 2. 会場受付にて参加費500円をお支払いください。
- 3. 領収書、参加証明書をお受け取りください。

一般演題発表者の方へ

- 1. 発表形式は、PCを用いた口演発表とします。
- 2. 13 時 50 分までに発表用のデータの受付・登録をしてください。
- 3. 発表時間は7分、討論は3分です。時間厳守でお願いします。

シンポジウム発表者の方へ

- 1. 発表形式は、PCを用いた口演発表とします。
- 2. 14 時 50 分までに発表用のデータの受付・登録をしてください。
- 3. 発表時間は12分、討論は3分です。時間厳守でお願いします。

理事の皆様へ

理事会を11時45分より病院中央棟4階橋ホールにて開催します。

I&A 委員の皆様へ

I&A 委員会を12時15より病院中央棟3階中会議室(1)にて開催します。

代議員の皆様へ

代議員会を12時45分より病院中央棟4階橋ホールにて開催します。

合同輸血療法委員の皆様へ

委員会を13時15分より病院中央棟3階中会議室(1)にて開催します。

タイムスケジュール

各種委員会 11:45~12:15 理事会

12:45~13:15 代議員会

13:15~13:45 合同輸血療法委員会

例会・総会 14:00~14:10 開会の辞

14:10~15:00 一般演題

15:00~15:10 休憩

15:10~16:10 シンポジウム

16:10~16:20 休憩

16:20~17:00 特別講演

17:00~ 表彰式・閉会の辞

プログラム

〈一般演題〉 14:10~15:00 座長:水田 秀一(金沢医科大学病院)

1: 石川製造所における新鮮凍結血漿(FFP)の品質情報について 日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター 加藤泰子、酒田寿美恵、本庄祐子、森 知美、由田美奈子、新田 誠、安村 敏、 竹尾高明

2: 血小板輸血後に検出した抗 E

金沢大学附属病院 輸血部 尾後貫優香、佐藤英洋、内海真紀、佐藤祐樹、福富佳代子、山﨑宏人

3: 術前検査で検出された抗 Tia

金沢大学附属病院 輸血部 内海真紀、佐藤英洋、佐藤祐樹、尾後貫優香、福富佳代子、山﨑宏人

4: 血小板輸血における使用ガイドライン遵守率と予約状況について

富山大学附属病院 檢查·輸血細胞治療部 大木龍志、富山隆介、雨野里奈子、前田和保、水島智子、関口敬文、道野淳子、 村上 純、仁井見英樹

5: 当院における緊急輸血対応への取り組み

金沢医科大学病院血液センター $^{1)}$ 、金沢医科大学血液免疫内科学 $^{2)}$ 、金沢医科大学心臓血管外科学 $^{3)}$ 山口大介 $^{1)}$ 、香林優佳 $^{1)}$ 、林 実佳 $^{1)}$ 、長谷美里 $^{1)}$ 、北森久美子 $^{1)}$ 、永吉靖弘 $^{1)3)}$ 、正木康史 $^{1)2)}$ 、水田秀一 $^{1)2)}$

〈シンポジウム〉 15:10~16:10

座長:山﨑 宏人(金沢大学付属病院 輸血部長)、山本 由加里(富山大学附属 病院 看護部 輸血細胞治療部門)

- 1: **学会認定臨床輸血看護師の現状と今後の課題** 金沢医科大学病院看護部 外来 I・血液センター兼任 北森久美子
- 2: 輸血認定看護師の現状と今後の課題 「富山県合同輸血療法委員会看護師部会での活動と役割」 市立砺波総合病院 水上かよ子
- 3: 認定輸血看護師の現状と今後の課題 臨床検査技師の立場から 国立病院機構石川病院 研究検査科 谷口 容
- 4: **臨床輸血看護師の活動の現状と存在意義をアピールするために** 富山大学附属病院 看護部 輸血細胞治療部門 山本由加里

〈特別講演〉 16:20~17:00

『血液事業と血液内科診療の狭間で分かったこと』 石川県赤十字血液センター所長 中尾 眞二 先生

司会:水田 秀一(金沢医科大学病院)

〈特別講演〉

血液事業と血液内科診療の狭間で分かったこと

石川県赤十字血液センター所長 中尾眞二

41年間、診療のために血液を使用する側であった血液内科医が、健常者から血液を採取し病院・医院に供給する側に立つようになってから1年半になる。その間に初めて分かったことがいくつかあるが、その中の一つが、血液内科学的にみると献血ドナーは必ずしも健康ではない、ということである。血小板が45万を超える本態性血小板血症予備群の方、MCVが80前後でありながら、2週間に1回血漿成分献血のために献血ルームに来られる人、ヘモグロビン7g台であったが本人も気づかずにサッカーをしていた萎黄病の高校生など、様々な問題が隠れていることが分かる。善意で献血して下さるドナーに、今後も健康で献血し続けて頂くためには、検診医が献血ドナーの健康管理に積極的に関わる必要があると考えている。本講演では、献血時の血液検査で分かるドナーの不健康状態とそれを改善するための方策に加えて、演者が専門とする造血不全と輸血との関わりについて紹介する。

1:石川製造所における新鮮凍結血漿(FFP)の品質情報について

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター 加藤泰子、酒田寿美恵、本庄祐子、森 知美、由田美奈子、新田 誠、安村 敏、竹尾高明

【はじめに】

石川製造所では富山・石川両県での献血から血液製剤を製造し、医療機関から 製剤に係る品質情報の報告を受けた場合に、状況を確認し調査している。

【方法】

2016~2021 年度に石川製造所で製造し、医療機関から報告のあった FFP の品質情報について、発生状況と原因について解析した。

【結果】

FFP の報告は凝固が 9 本、容器破損が 47 本であった。凝固成分はクリオプレシピテート 3 本、フィブリン 3 本、その両者が 3 本であった。融解方法は融解装置によるものが 6 本、恒温槽や温水は 3 本であった。容器破損は FFP-LR240 が 35 本、FFP-LR480 が 12 本で、融解場所は手術室 12 本、1 CU・HCU12 本、病棟 6 本などであった。破損部位は底部・下部 22 本、側部 19 本、輸血口 6 本であった。

【考察】

凝固事例でのクリオプレシピテート等の析出は融解装置の使用によっても発生するため、完全に融解しているかの確認が必要である。破損事例は製剤の保管・搬送から使用までの何らかの物理的衝撃によるが、特に輸血口の破損については包装箱からの取り出し方による破損の可能性が高い。血液センターでは細心の注意を払って出庫しているが、これからも適切な取り扱いを促進するため、医療機関への情報提供に努めたい。

2:血小板輸血後に検出した抗 E

金沢大学附属病院 輸血部 尾後貫優香、佐藤英洋、内海真紀、佐藤祐樹、福富佳代子、山﨑宏人

【はじめに】

血小板製剤中に含まれる赤血球量は僅かであり、血小板輸血のみで不規則抗体を産生するのは稀である。今回、血小板輸血後に抗Eが検出されたので報告する。

【症例】

70歳代女性。A型。CcDee。妊娠歴あり。化膿性脊椎炎に対する手術目的で入院。入院初日から3日間で血小板製剤計40単位を輸血した。初日の不規則抗体スクリーニングは陰性だったが、入院41日目、再度不規則抗体スクリーニングを実施したところ、陽転化した。この間、赤血球輸血は実施されていない。

【結果】

試験管法で同定検査を実施した。生食法で自己対照を含むすべてのパネル血球で陽性となったため、反応増強剤無添加間接抗グロブリン試験(IAT)を実施したが陰性だった。結果、PEG-IATを実施し、抗Eを同定した。血小板製剤ドナーの血液型は、40単位中20単位がE抗原陽性だった。後日、血漿を0.01M DTTで処理し、カラム凝集法で再検したところ、陰性化した。

【考察】

DTT 処理で陰性化したことから抗Eは IgM 型の可能性が示唆された。また、IAT で検出できず、PEG-IAT と LISS-IAT で検出可能となったのは、反応増強剤により、IgM 型抗体が持ち越されたためと考えた。患者は妊娠歴があることから、検出された抗 E は二次免疫応答により再活性化した可能性も考えられ、今回の血小板輸血が契機となり新たに産生されたかは不明である。

3: 術前検査で検出された抗 Tia

金沢大学附属病院 輸血部 内海真紀、佐藤英洋、佐藤祐樹、尾後貫優香、福富佳代子、山﨑宏人

【はじめに】

P1 抗原、P 抗原および Pk 抗原が陰性の p 型は極めて稀な血液型である。p 型のヒトが自然抗体として保有する抗 T ja は、抗 P+P1+Pk の混合抗体であり、重篤な溶血性副作用を引き起こす。今回、術前検査で抗 T ja が検出された症例を経験したので報告する。

【症例】

77歳男性。十二指腸癌に対する術前精査目的で入院。

【結果】

カラム凝集法による血液型検査は、オモテ検査A型、ウラ検査0型で判定保留となった。抗体スクリーニング検査は、生食法および間接抗グロブリン法ともに陽性、自己対照は陰性であった。i赤血球を用いた追加検査から寒冷凝集素の影響は否定されたため、血液センターへ精査依頼を行った結果、抗Tjaが同定された。p型のA1血球との反応は陰性であり、A型RhD陽性と判定された。

【経過】

手術 23 日前と 9 日前に自己血を合計 800ml 貯血した。膵頭十二指腸切除術が施行され、術中出血量は 380mL であり、無輸血で終了した。

【まとめ】抗 Tja を保有する患者への輸血において、p 型赤血球の適合率は 0.01%以下であり、解凍赤血球の調整には時間がかかる。急な出血に対応する ことは難しいが、本症例では血液型検査から手術までに約 2 か月あり、自己血を準備して手術に備えることができた。

4: 血小板輸血における使用ガイドライン遵守率と予約状況について

富山大学附属病院 検査·輸血細胞治療部 大木龍志、富山隆介、雨野里奈子、前田和保、水島智子、関口敬文、道野淳子、 村上 純、仁井見英樹

【目的】

血小板輸血は予約制であるが、当日依頼も多く、必要な時までに納品するため に血液センターに協力いただいている。科学的根拠に基づいた血小板製剤の使 用ガイドラインに照らし血小板輸血状況を調査した。

【対象・方法】

2022年6月~8月までの血小板輸血を対象とした。ガイドラインに照らし分類し、件数、当日依頼の割合、輸血直前の血小板数を調査した。

【結果】

326 件、当日依頼は 144 件 (44. 2%) だった。ガイドラインのがん・造血器悪性腫瘍が 191 件 (当日 33. 0%)、輸血直前の血小板数は $0.3\sim5.9\times104/\mu$ L (平均 $2.3\times104/\mu$ L)、ガイドライン遵守率は 51.3%、造血不全が 27 件 (3.7%)、 $0.4\sim3.9$ (1.4)、14.8%、血小板減少を呈する処置・手術は 42 件 (52.4%)、 $0.9\sim11.2$ (4.8)、57.1%、外傷性頭蓋内出血は 6 件 (100.0%)、 $1.8\sim10.8$ (4.1)、100%だった。ガイドライン外で、DIC は 42 件 (88.1%)、 $0.7\sim9.0$ (4.3)、補助循環装置使用は 18 件 (83.3%)、 $2.8\sim6.9$ (4.6) だった。

【考察】

当日依頼は44.2%であり、富山県平均37.7%と比較し、概ね他施設と同程度と思われる。がん・造血器悪性腫瘍と造血不全は、血小板減少が予測しやすく当日依頼は29.4%だった。血小板減少を呈する処置・手術は、予定手術では事前依頼されていた。外傷性頭蓋内出血は、緊急手術のため当日依頼であった。DIC や補助循環装置使用はガイドライン上明記がないが、多くの患者で使用されていた。

5: 当院における緊急輸血対応への取り組み

金沢医科大学病院血液センター $^{1)}$ 、金沢医科大学血液免疫内科学 $^{2)}$ 、金沢医科大学心臓血管外科学 $^{3)}$ 山口大介 $^{1)}$ 、香林優佳 $^{1)}$ 、林 実佳 $^{1)}$ 、長谷美里 $^{1)}$ 、北森久美子 $^{1)}$ 、永吉靖弘 $^{1)3}$ 、正木康史 $^{1)2)}$ 、水田秀一 $^{1)2)}$

【背景】

当院では2019年12月に緊急輸血時のマニュアルをより現状に則したものへ改訂した。その内容と結果について報告する。

【運用と取組み】

緊急輸血項目を改訂、緊急輸血時のフローチャートのポスターを配布し、病院 内の連絡会議で各診療科医師等へ周知した。また当直担当の輸血非専任技師へ 対応について勉強会を行った。

【結果】

未交差輸血製剤出庫件数は、2018年4件、2019年3件だったが、改訂後は2020年6件、2021年22件、2022年17件(1月から6月まで)と増加した。改訂後、発生時間は業務時間帯(8:45~17:00)が27件、当直時間帯が18件だった。診療科別では消化器外科10件、小児心臓血管外科9件、心臓血管外科8件、循環器内科4件、救急救命科3件、その他11件だった。オーダーから出庫までの平均時間は14分で、42件中24件が10分以内だった。

【まとめ】

未交差出庫の依頼件数は 2020 年以降増加している。これはマニュアル改訂やフローチャート作成により、緊急輸血時対応が臨床側に浸透した結果と考えられる。今後も定期的な勉強会の開催や、シミュレーション等を実施し、より安全で迅速な血液製剤の供給に努めていきたい。

1: 学会認定臨床輸血看護師の現状と今後の課題

金沢医科大学病院看護部 外来 I・血液センター兼任 北森久美子

私は2016年に臨床輸血看護師に認定され、院内輸血療法委員会参加、病棟内 の勉強会を行った。2018年に当院血液センターからの要望で、血液センター専 任看護師となった。臨床輸血看護師の業務内容を明文化し、医師と検査技師と 協働で、適正で安全な輸血を患者様に提供できるよう取り組んだ。内容とし て、①自己血採血の介助と穿刺、②末梢血幹細胞採取時の看護、③院内新人教 育、④院内ラウンド、⑤問い合わせの対応、⑥輪血療法委員会の参加と資料提 示、⑦輸血マニュアルの作成とした。その他、学会認定・臨床輸血看護師制度 研修施設として、毎年2~3名の研修生を受け入れてきた。また、石川県合同 行輸血療法委員会の委員となり、2017年にその中の、学会認定資格看護師委員 会の責任委員となった。活動としては、年1~2回の交流会を開催し、輸血に 関する情報共有、症例検討や困ったこと等などの意見交換を行っている。現在 21 名登録しているが、交流会は 10 名程の参加である。今年 7 月に Web で行っ た交流会では、スタッフ教育や、ラウンドなどの活動がなかなかできない、次 を担う認定看護師が増えないという現状報告があった。今後は身近なところか ら勉強会を行っていく事、医療安全と連携してラウンドを行いたいと抱負を述 べていた。これからも交流会を通して、モチベーションの維持に努めたい。

2: 富山県合同輸血療法委員会看護師部会での活動と役割

市立砺波総合病院水上かよ子

学会認定・臨床輸血看護師制度(以下、臨床輸血看護師制度)は輸血に関する正しい知識と的確な輸血看護により、輸血の安全性の向上に寄与することのできる看護師の育成を目的として2010年に導入された。2021年までに臨床輸血看護師制度に合格した看護師は全国で2012名である。この認定制度は更新制で5年毎に認定更新をする必要がある。更新しているのは約6割で、現在全国の学会認定臨床輸血看護師(以下、臨床輸血看護師)数は1568人である。約4割が更新しておらず、臨床輸血看護師としてのモチベーションを維持出来ないことが要因の一つだと考える。

私は 2015 年に臨床輸血看護師となり、院内活動として新人看護師への輸血に関する研修会やマニュアルの改訂などを行ってきた。活動をしていく中で、臨床輸血看護師の活動に対しての不安や疑問が出てきたが、当院には臨床輸血看護師は一人だけのため、同じ立場の人に思いを表出したり話し合いをして課題を見出すことが出来なかった。そのような状況の中、私は富山県合同輸血療法委員会看護師部会(以下、看護師部会)の一員となった。看護師部会に入り、他の病院の臨床輸血看護師と活動内容や課題、対応方法などの情報や意見を交換する機会を持ち、仲間がいるという心強さを実感することが出来た。また、県内の看護師や臨床輸血看護師を対象とした輸血研修会を共に開催し、活動の幅が広がり臨床輸血看護師の活動に対して少しずつ前向きになり、自身の役割や課題を見出すことが出来た。

今後は看護師部会で得た知識や活動内容を院内で伝達や啓蒙し、臨床輸血看護師の活動や役割を知り興味を持ってもらえるようにしていきたい。そして臨床輸血看護師の仲間を増やし協働していくことで、安全な輸血療法の実施に繋げていきたい。

3:認定輸血看護師の現状と今後の課題 臨床検査技師の立場から

国立病院機構石川病院 研究検査科 谷口 容

輸血医療チームに求められる看護師の役割としては、輸血療法の専門的知識に基づき、質の高い輸血看護を患者へ提供すること、輸血管理部門と輸血チームの橋渡しとして、現場での情報収集・教育・啓発・改善活動を行うなど、院内横断的な活動が望まれます。

看護協会の認定ではないため、認知度が低く、アドバンテージがない、また、 認定を取得しても部署異動などでモチベーションが保てず、せっかく取得した のに更新されない方も多いとうかがっております。

急性期・慢性期、機能の異なる施設に勤めてきた自身の経験より、学会認定・ 臨床輸血看護師の皆様、これから取得を考えておられる皆様に、いち臨床検査 技師目線でお話できればと考えております。他職種としてのお互いを知ること で、多職種でのより良い連携の一助になれば幸いです。

4:臨床輸血看護師の活動の現状と存在意義をアピールするために

富山大学附属病院 看護部 輸血細胞治療部門 山本由加里

日本輸血・細胞治療学会では学会認定看護師として 2010 年から「臨床輸血看護師」「アフェレーシスナース」 2009 年から「自己血輸血看護師」を育成し輩出している。臨床輸血看護師は 2022 年 9 月現在で全国に 1300 人以上存在し活躍している。2017 年に発表された「輸血チーム医療に関する指針」ではその役割について、輸血療法委員会や医療安全対策委員会などに参加し、ベッドサイドにおける輸血医療の安全性を確保するための体制作りを行うこと・看護師対象の輸血研修を計画・実施すること・各部門への輸血教育への支援を行うことなどを挙げている。全国で活動内容を報告されている例を見るとインシデント対策やシステム構築・新人及び現任教育・合同輸血委員会活動が主な内容であり、目的に沿った活動が行われていることが示唆される。一方で部署異動により関わらなくなった・自部署以外での活動は周囲に理解が得られがたい状況にあり積極的に動くことができないうちにモチベーションが低下してしまうなど、資格を取得しても活用方法が見いだせない状況にある有資格者も少なくない

当院では輸血細胞治療部門専任の臨床輸血看護師が「輸血実施に関する相談窓口」として平日の時間内はリアルタイムに対応している。また、輸血関連のインシデントやアクシデントに対して輸血現場と連携をとって共に対策を模索している。これらの活動で得られた情報は輸血現場が求めるニーズでもある。今年度より各部署に配置された医療安全ナースを通してこれらの情報を全ての現場にフィードバックできるシステムを構築した。本シンポジウムでは臨床輸血看護師の存在意義をアピールし、活躍の場を広げるヒントを模索したいと考えている。

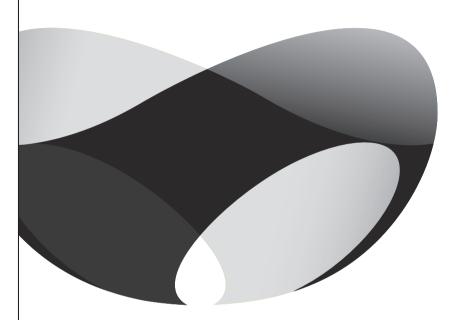
本学会にご協賛頂きました下記の会社に厚く御礼申し上げます。 第 40 回日本輸血・細胞治療学会北陸支部例会事務局

〈 広告協賛 〉

旭化成ファーマ株式会社
アステラス製薬株式会社
アッヴィ合同株式会社
株式会社イムコア
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
協和キリン株式会社
シンバイオ製薬株式会社
中外製薬株式会社
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
ベックマン・コールター株式会社

(五十音順)







抗悪性腫瘍剤/BCL-2阻害剤

ネクレクスタ ® 50mg 100mg

VENCLEXTA®

ベネトクラクス錠

薬価基準収載

10mg

劇薬 処方箋医薬品注

注)注意 - 医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については最新の 電子化された添付文書(電子添文)をご参照ください。

医療従事者向け **A-CONNEC**



製造販売元

アッヴィ合同会社(文献請求先及び問い合わせ先)

東京都港区芝浦3-1-21 フリーダイヤル 0120-587-874

2022年3月作成 JP-VEN-220010-1.0 abbyie

Transfuse







Transplant

Transform a life

私たちイムコアは、輪血・移植検査に携わる皆様の的確な検査業 務のために、信頼し安心できる最適な検査試薬と検査システムの 提供に誠実に取り組んでいます。

全自動輸血検査装置

ECHO Lumena™

Brilliant Performance.

Clear Results.

Seeing beyond limits

ECHO Lumenaは、イムコアの次世代の全自動輸血検査装置です。搭載された最新のカメラリーダーやソフトウェアの機能は、データの信頼性を高め、更に安全な輸血検査を提供します。よりパワフルになったEfficiency(業務効率)、Accuracy(検査結果の信頼性)、Flexibility(フレキシビリティ)をぜひご体験ください。



- 臨床的に意義のあるIgG不規則抗体の確かな検出のためのキャプ チャー法を採用
- 検体及び試薬ラック装填/洗浄液の補充/廃液の廃棄に、動作中で も連続的にアクセスが可能
- ユーザーフレンドリーなスタートアップ/メンテナンス手順
- コンパクトなベンチトップ輸血検査装置

医療機器民用級品

全自動輸血検査装置 ECHO Lumena: 13B3X10033000001

株式会社 イムコア

東京都港区東新橋2-4-6 パラッツオシエナ 5F TEL 0120-16-4521





Ortho Clinical Diagnostics

Because Every Test Is A Life™

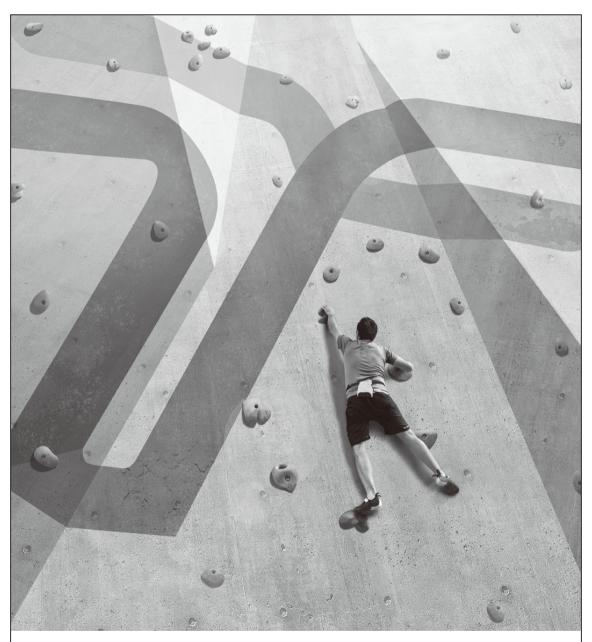
ORTHO VISION® *Swift* is ready to go when you need...

For more information, please visit orthoclinical diagnostics.com/ja-jp

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー お客様サポートセンター Tel.0120-03-6527

URL OrthoClinicalDiagnostics.com
© Ortho Clinical Diagnostics 2022 PR-13006





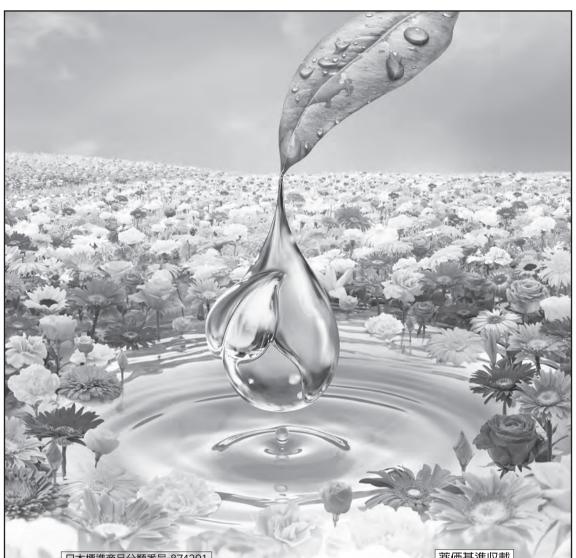


効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】 シンパイオ製薬株式会社 医薬情報センター フリーダイヤル: 0120-481-055 http://www.symbio-med-pro.com/

2021年3月作成 SyB-TRA/D0101



日本標準商品分類番号 874291

薬価基準収載

抗悪性腫瘍剤/微小管阻害薬結合抗CD79bモノクローナル抗体 生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品*

パライビー。点滴静注用30mg、140mg



ポラツズマブ ベドチン(遺伝子組換え)注

*注意-医師等の処方箋により使用すること

®F.ホフマン・ラ・ロシュ社(スイス)登録商標

「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については電子化 された添付文書をご参照ください。

製造販売元

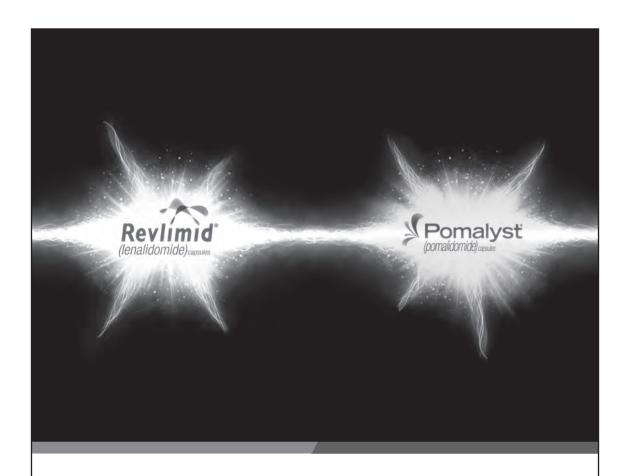


中外製薬株式会社 | C文輔東先及び関い合わせ允 メディカルインフォメーション部 | TEL.0120-189-706 FAX.0120-189-705

(販売情報提供活動に関する問い合わせ先) https://www.chugai-pharm.co.jp/guideline/

Roche ロシュ グループ

2022年8月作成





抗造血器悪性腫瘍剤

薬価基準収載

2.5mg **2.5**mg カプセル **5**mg

Revlimid® Capsules

レナリドミド水和物カプセル

毒薬 処方箋医薬品*

※注意―医師等の処方箋により使用すること



抗造血器悪性腫瘍剤

薬価基準収載

ドマリスト カプセル 3mg 4mg

Pomalyst® Capsules

ポマリドミドカプセル

毒薬 処方箋医薬品※

※注意一医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等に つきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入)

√ ブリストル・マイヤーズ スクイブ 株式会社

文献請求先及び問い合わせ先 メディカル情報グループ TEL:0120-093-507 販売情報提供活動に関するお問い合わせ窓口 TEL:0120-487-200 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1

2022年7月作成 2003-JP-220006905

CD34 陽性細胞絶対数の全自動測定 AQUIOS STEM システム

AQUIOS STEM システム*は、現在の標準的手法のレベルアップというゴールを掲げ、 臨床検査室でCD34陽性細胞数の計測にあたる第一線の専門家と共にデザインした CD34陽性造血幹細胞とその前駆細胞を自動解析するシステムです。



詳細は beckman.jp へ

*システム構成にAQUIOS 全自動クリニカルフローサイトメーターを含む 製造販売届出番号: 13B3X00190000048

一般医療機器(特定保守管理医療機器、設置管理医療機器)

Beckman CoulterおよびBeckman Coulterロゴは、 Beckman Coulter, Inc.の登録商標です。

ベックマン・コールター株式会社

社:〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウエストタワー お客様専用 **20** 0120-566-730 URL https://www.beckman.jp



Creating for Tomorrow

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが"いのち"を育み、

より豊かな"くらし"を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、次の時代へ大胆に応えていくために一。

私たちは、"昨日まで世界になかったものを"創造し続けます。

Asahi **KASEI**

旭化成ファーマ株式会社

まだないくすりを 創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。



www.astellas.com/jp/



2019年7月作成